まつ研通信

第6号

2012年3月30日発刊

「第７回松尾地域賑わい空間創出研究会」を開催しました！

平成２３年度の最終回となるまつ研では、松尾庁舎跡地の施設計画案をもとに、参加者で意見交換を行いました。

その結果、跡地に整備する機能や施設配置について、一定の方向性をまとめることができました。

また、参加者から、今年１年間の感想も頂きました。

今回は、最終回ということもあり計 30 名の方にご参加いただき、今年度の活動を締めくくる活発な議論が行われました。

その開催概要については、次のとおりです。

≪ まつ研の進め方 ≫

- 第１回　【H23年9月11日】
  松尾地域の“賑わい”を考える。
- 第２回　【H23年10月1日】
  賑わいづくりのアイデアを絞り込む。
- 第3回　【H23年10月23日】
  跡地につめこむ施設機能を具体化する。
- 第4回　【H23年12月11日】
  専門家の講義を聞き、跡地で実現する事柄の確認と課題の整理をする。
- 第5回　【H24年1月21日】
  参考施設を訪問し、施設イメージを膨らませる。
- 第6回　【H24年2月26日】
  施設計画素案をもとに機能や施設を検討する。
- 第7回　【H24年3月17日】*※本通信にて報告*
  今年度の検討のまとめをし、今後の方針を考える。

第7回研究会開催概要

日時：平成 24 年３月 17 日 13:30～16:00
場所：松尾ＩＴ保健福祉センター

第７回研究会の進行プログラム

1. 開会のあいさつ
2. 最終施設計画について説明
3. 最終施設計画についてグループ毎に意見交換
4. グループ別の発表＆感想発表
5. 閉会のあいさつ

テーマ：「施設計画案をもとに最終確認をする」

第１回から第５回までに議論した結果をとりまとめた施設計画素案をもとに、第６回研究会では跡地利用の具体化とイメージの共有を図りました。そして今回は、第６回で出された意見を踏まえて作成した施設計画案について、意見交換を行いました。

- ●屋内施設の配置と形状が異なる２つの施設計画案をもとに、施設配置や施設内容について、各グループで意見交換を行いました。
- ●各グループでの検討結果を発表した後、意見を総括して今年度の活動のまとめとしました。

今年度最後の研究会ということで、参加者全員に一年間の感想を話して頂きました。来年以降の抱負など前向きな意見が多く、今後の活動に期待をしながら、今年度の会を締めくくることができました。

問合せ先　**山武市総務部企画政策課**
ＴＥＬ：0475 - 80 - 1131　／　ＦＡＸ：0475 - 82 - 2107

≪施設計画案をもとに、機能や施設配置を確認しました≫

・国道側にも出入口がほしい
・出入口は２箇所あるとよい

歴史資料館は図書館等に併設したほうがよい

ふれあい館と連携し、休憩等で利用できるとよい

洗心館はエレベーターの設置等、リフォームしてほしい

トイレはバス停の近くが良いのではないか。

車庫棟を残せば、農機具のレンタルを実施できる

防災倉庫を、防災水槽の下に置けば良いのではないか

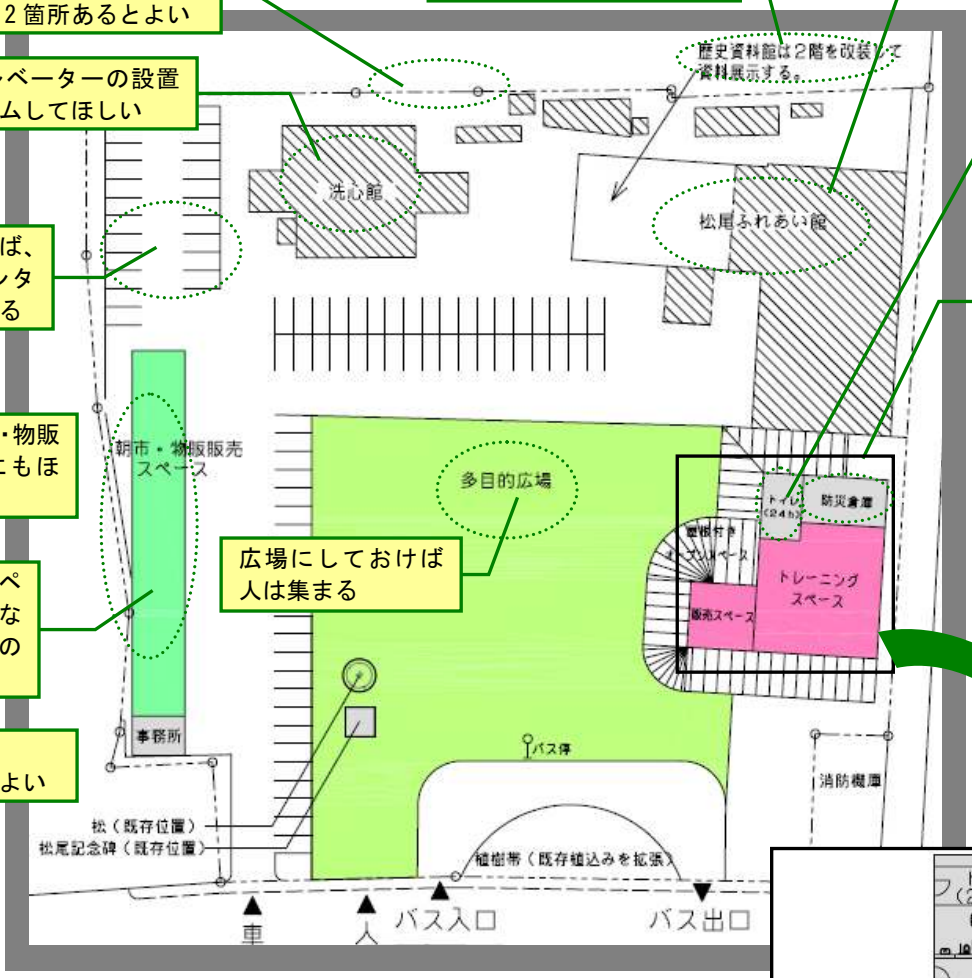
トイレは朝市・物販スペース側にもほしい

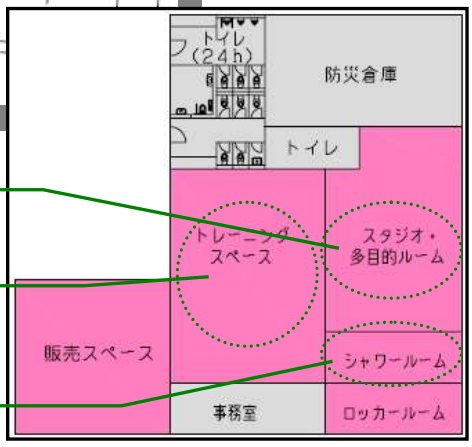
トレーニング後の休憩場所がほしい

広場にしておけば人は集まる

朝市、物販スペースは作らなくてもよいのではないか

駐輪場もあったほうがよい





・利用料金は安くした方がよい
・市民とそれ以外とで料金に差をつけてほしい。

多目的ルームはできるだけ広くしたい

トレーニングスペース＋加エスペース（米粉加工品）

シャワーではなく、お風呂が良い

≪第7回研究会の検討結果≫

- トイレはバス利用者や朝市参加者等の利用のしやすさを考えて配置する必要がある。
- 洗心館やふれあい館と連携し、休憩スペース等に利用できるとよい。
- 歴史資料館の設置は再度検討したほうがよい。
- 利用料金を含めた具体的な運営管理方法については、今後検討していく必要がある。

～平成 23 年度松尾地域賑わい空間創出研究会に参加して～

○ 将来性を考えて流動性のある整備をしていってもらいたい
○ 気軽に利用できる施設になるとよい
○ 多目的広場や多目的ルームを広く活用できればよい
○ 実際に利用する人や、専門家等の意見も反映する必要がある
○ 今後も参加していきたい
○ まつ研の取り組みや、まつ研で学んだことを周りの人に伝えて行きたい